

(令和元年6月作成)

事務事業評価シート

(R1)No.	1479	(H30)No.	1479
---------	------	----------	------

事務事業名	未来へつなぐ学びの支援事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	学校教育室	山村 浩由	

会計区分	事業コード	462519
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 教育費	教育振興費	
項 教育総務費	(小事業名)	
目 教育振興費	未来へつなぐ学びの支援事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	豊かな心と健やかな体を育み暮らせるまち
	基本施策	1	生きる力を育む教育の推進
	施策	1	学校教育
重点プロジェクト	2.若者定住促進プロジェクト		

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
子どもの貧困の連鎖を断ち切る取組、また、名張市で進めるコミュニティ・スクールの「学校支援」「地域貢献」の一環として、学校図書館を活用した子どもの居場所づくりを含めた補充学習や、学校で実施する長期休業中の補充学習の充実を図ります。
事業内容
学校図書館を土曜日や夏季・冬季休業中に地域の大人や子どもに開放し、まず子どもの居場所づくりから始め、地域の大人と子どものつながりを構築し信頼関係をつくるなかで、図書館を活用した補充学習に移行していきます。学生を学生補充学習サポーター、また、地域の方を補充学習サポーターとして、平日の放課後等の補充学習の時間に学力向上の支援を図る体験を通して、地域の人材育成や絆づくりをし、地域の教育力を高めます。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H30年度(事業量・取組実績)	R1年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	学校図書館を活用し、地域に住む大人や子どもが交流する場、または、地域の大人が子どもの学習を支援することで生きがいを見つけ、学び続けられる生涯学習の拠点をつくる。 貧困の連鎖を断ち切り、家庭環境の厳しい児童生徒の学力保障を行う。 (R2年度の市内全小中学校においてCSが実施されることに向けた取組として、図書館活用をした取組校を市内8校に増加。また、補充学習サポーターによる、児童生徒の補充学習の支援や相談を行う。)	「未来へつなぐ学びCSプロジェクト」へ移行。

R2年度(事業計画)	R3年度(事業計画)	R4年度(事業計画)

	H30年度(決算見込)		R1年度(作成時予算額)		R2年度(計画予算)	R3年度(計画予算)	R4年度(計画予算)
	H29繰越分	H30現年分	H30繰越分	R1現年分			
①直接事業費		410千円					
内 国・県支出金		204					
内 地方債							
内 その他()							
内 一般財源	0	206	0	0	0	0	0
人 職員		0.11人					
工 臨時職員等		0.02人					
②概算人件費	0千円	877千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
①+②総事業費	0千円	1,287千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H30年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
近年の家族構成の変化、厳しい労働環境、地域・経済格差の進行により、生活に困難を抱える家庭が増加しています。このような環境の下、保護者の学習、読書等の経験が不足することが、子どもの教育機会に影響を与えている状況があります。子どもにとっての教育機会の格差は、学力格差につながり、将来的な経済格差の要因となります。この負の連鎖を断ち切るために、子どもの居場所を創り出し、地域住民との協働のもとに、地域の教育資源である学校図書館を活用して、未来へつながる支援を行いました。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	事業完了(予定含む)
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	6. 事務事業の取組に係る市の計画